



## 議会初! 県大生とオンライン市民懇談会



1月14日(木)16時から、岩手県立大学と市役所を結び、本市議会(産業建設常任委員会)で初めてオンラインによる市民懇談会を開催しました。映像・音声と共に資料で、学生が取り組んだ政策課題実習の発表や「若者の受け皿確保対策」をテーマにした意見交換等を行い、円滑なコミュニケーションが図られました。

### 学生が取り組んだ政策課題実習の発表内容

- 子ども目線に配慮した企画が可能になるよう、学生ボランティアと本市で「キッズサポート隊」を提案。
- 情報不足である学生へ市内企業をPRし、市内就職者の増となるよう、学生と市内企業で「インターンシップ応援隊」を提案。
- 健康づくり、効率的なアクセスおよび若者定住促進等を期待し、「チャリチャリチャリッ子」(自転車利用応援プロジェクト)を構築。
- 次世代の人材育成や新価値観の醸成が可能になるよう、難解な市議会を若者目線の内容に翻訳・発信。



産業建設常任委員会委員(6名)

### 「若者の受け皿確保対策」をテーマに

#### 5つの項目に対する意見交換

- ★空き家の有効活用には、地域住民・企業・学生の交流機会の増、生活圏内に商業施設等の誘致が必要。
- ★公園の有効利用には、遊びや運動ができる場として、子どもの成長に沿った仕様・構造の公園が必要。
- ★都市計画には、働く場の他に商業施設、中心拠点型都市等をイメージすることが必要。
- ★企業誘致には、最先端分野や多種多様な業種も視野に入れ、工夫した市内企業情報の発信が必要。
- ★新規就農対策には、副業、家庭菜園、SDGs を視野に入れた農業、農業技術の習得機会の創設等が必要。

調査報告

## 議会ICT化検討チーム会議

### ペーパーレス化の効果: タブレット端末の特殊性を活かすことで、大幅なコスト削減と環境負荷の軽減が期待されます

◎印刷枚数や印刷代  
(議会における会議資料は本会議、各委員会等で13種類あります)  
**約140万円/年間・20名**



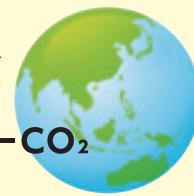
**4年間で  
約640万円の  
削減が  
見込まれます**

◎任期ごとの配布物  
(4年に1回配布される事業計画書等)  
**約87万円/20名**

※数字で示すと具体的な削減効果が得られ、将来的に有効であることがわかりました。

#### ◎環境負荷の軽減

従来のペーパー配布の方法では、  
印刷機の使用電力  
資料綴じ用のファイルの焼却費用  
ゴミ収集運搬車等のCO<sub>2</sub>の発生が生じます。  
 ペーパーレス化することで環境負荷を軽減し定量的に提示すると**年間731kg-CO<sub>2</sub>**の削減効果があります。



#### ◎業務の効率化は?

- ・修正や差し替えに即座に対応できる。
- ・印刷業務が軽減される。
- ・距離や天候に関係なく提供できる。
- ・郵送、ファックスなどの待ち時間が無くなる。

#### ◎管理と活用は?

- ・タブレット端末内の電子本棚に文書を登録するだけで、文書・資料が整理され、文書管理業務が軽減できる。
- ・直接的な「再配布」がほとんど無くなる。
- ・過去資料の参照が容易になる。

### アンケートを実施しました

タブレット端末の導入により、地域住民が必要とする情報をリアルタイムに提供、地域活動の推進に不可欠な情報を適時に提供できるなど、さまざまな活動が今まで以上に展開できると捉えています。

また、コロナ禍での対応を考えると、オンラインを活かした市民からの情報収集もできることから、今後の活用方法は幅広くなります。議会報告会、市民懇談会、市民議会等での活用も皆さんとのコミュニケーションの潤滑油となり、効果が期待されます。

当初は、議会報告会でこれらの報告をさせていただき、意見聴取の予定となっていたことから、現在、参加予定者を対象に「市民と議会との今後の活用について」アンケート調査を行い精査しています。

